

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
経済学部	1	環境法入門	(1)	1	全学共通教育科目	小林寛	環境法に関する入門(法学への導入講義を含む)の講義を総論(基本理念・原則等)と各論(大気汚染等)に分けて行った。
	2	環境法務実習	(1)	3	経法学部総合法律学科	小林寛	大学で学んだ環境法学が社会における業務の現場(行政、法律事務所、民間企業)においてどのように運用されているのかということを実践的に学習した。
	3	国際環境法	(1)	3	経法学部総合法律学科	小林寛・三好規正・横濱和弥	国際法の基本的な考え方並びに条約・国際慣習法を中心に形成されてきた国際環境法の基本原則及び各論(気候変動、オゾン層破壊、有害廃棄物の越境移動等)を概説した。
	4	環境と憲法訴訟	(1)	3	総合法律学科	成澤孝人	日本国憲法における環境権について、憲法訴訟論の中で、その意義を解説した。
	5	国際政治	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	国際社会の課題、グローバルイシューズについて学ぶ。SDGsは課題解決へ向けた重要な国際的な目標と位置付けられる。
	6	Global Political Economy	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	グローバルイシューズについて主に英語を使用して学ぶ。SDGsは重要なテーマの一つ。
	7	海外インターンシップ研修	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	マレーシアプトラ大学との交流授業では、SDGsをテーマの一つとしている。
	8	環境法入門	(1)	1	共通教育(全学教育機構)	三好規正	新入生向けの授業として、環境法の理念・原則、大気汚染、水質汚濁、廃棄物処理、自然保護、地球温暖化など、様々な分野の基本的な法制度について講義した。
	9	国際環境法	(1)	3・4	総合法律学科	小林寛、三好規正、横濱和弥	環境保護に向けられた国際法の諸概念および内容について担当した。各教員が5回ずつ講義を担当し、横濱は最初の5回(国際法の基礎)を担当した。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
人文学部	1	環境エネルギー政策論	(2)	1~4	全学教育機構	茅野恒秀	世界および日本で進められているエネルギー転換の動向をふまえ、国際レベル、国全体、そして地方のレベルにおける環境エネルギー政策について学習。
	2	社会学特論IV	(1)	2~4	人文学部人文学科	茅野恒秀	地域社会の生活基盤をなす自然資源・文化資源をめぐる諸問題を中心に、現代地域社会における地域資源管理の諸問題を理解。
	3	社会学研究II(環境・地域社会学)	(1)	大学院	総合人文社会科学 研究科	茅野恒秀	環境社会学、地域社会学の領域における代表的な実証研究の蓄積を俯瞰し、研究対象の選定と主題の構成の相互関係、また実証と理論の相互関係について経験的に理解。
	4	環境エネルギー政策論	(2)	1~4	共通教育	茅野恒秀	世界および日本で進められているエネルギー転換の動向をふまえ、国際レベル、国全体、そして地方のレベルにおける環境エネルギー政策について学習。
	5	社会学特論V	(2)	2~4	人文学科	茅野恒秀	環境、地域、サステナビリティをめぐる諸問題を対象に、領域社会学の研究蓄積を解説しながら、環境・地域・サステナビリティの社会計画論の到達点と開拓されるべき学問的フロンティアとなる諸論点を検討。
	6	社会調査実習I・II	(2)	2~4	人文学科	茅野恒秀	松本市乗鞍において、地域におけるエネルギー消費の現状と課題のボトムアップ型実態把握と地域コミュニティの将来予測や意向把握をふまえた、脱炭素型の地域コミュニティ実現に向けたアクションリサーチ型の調査を実習。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育機構	1	環境社会学入門	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	本講では、環境社会学の理論的思考や実践的研究方法を学んだ上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができることを目標とします。
	2	熱帯雨林と社会	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	熱帯産の食料や資源などを事例に、それらの大量移動に伴う影の問題や現地社会と私たちが抱える現代的課題について考えます。
	3	生態資源論ゼミ	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	生態資源とは、人とともに存在し生きてきた資源を指します。県内の生態資源を事例とし、それらの利用の歴史と現状、展望を探ります。
	4	環境マインド実践基礎論	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎・坂本真一・江川信	環境分野の幅広い課題の基礎知識を身につけ、特に国際社会の共通の目標であるSDGsや、持続可能な循環共生型の社会構築を意識して、課題解決の考え方を学びます。
	5	アジア開発環境論ゼミ	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	『アジア環境白書』シリーズを手掛かりとして、アジアの開発と環境をめぐる「いま」を読み解いていきます。「持続可能な開発」概念を問い直し、私たちに求められている「かかわり」を議論します。
	6	環境マインド実践ゼミ I	(2)	2	全学教育機構	金沢謙太郎・坂本真一・浅野郁・祢津栄治	全学横断特別教育プログラム「環境マインド実践人材養成コース」の専用科目。長野県内の企業や行政、NPO等へのインタビューを行い、SDGsのゴールとの関連を討議します。
	7	社会学概論	(2)	3	経法学部	金沢謙太郎	本講では、環境問題、環境文化、環境行動の3つの領域における問題群から、具体的事例に基づいて考えていきます。
	8	生活の中の化学	(1)	1	全	勝木明夫	環境問題の基本となる基礎化学の内容を授業で扱い、環境問題についても考えるきっかけとなるように進めた。
	9	International Co-Learning Project ICP (国際共修)	(2)	全学		佐藤・仙石・アマンダ	2019年から2022年まで、前期・後期ごとに異なるSDGsのトピックを設定し、日本人学生と留学生が互いに話し合い、グループで問題意識と問題解決に取り組みました(→グループプレゼンテーション)。2022年度のトピック: SDG12 消費、SDG5 ジェンダー平等。(プロジェクトであったため、シラバスには登録されなかったが、2023年度からは単位認定された→担当者:アマンダ)。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育機構	10	環境マインド実践基礎論	(1)	1	全学	金澤・坂本・浅野	県内のさまざまな場で、環境活動に従事している方をお招きし、お話を伺うことを通じ、環境問題に考え方を身につけるようにする。
	11	環境マインド実践ゼミⅠ	(1)	1	全学	金澤・坂本・浅野	南信を訪問し、中山間地域で生活する方々からお話を伺うなかで、自然と接する暮らしに触れるとともに、伊那市周辺の企業を訪問して経済活動中に+H44おける環境への取り組みを調査した。
	12	環境マインド実践ゼミⅡ	(1)	1	全学	坂本・浅野	マレーシア・サラワクを訪問し、海外における環境問題やそれに対する人々の取り組みに触れることで、国際的な視野を身につける。
	13	自然環境政策概論	(1)	1	全学	坂本真一	基礎知識として、政策全般の立案過程を学んだうえで、環境問題、特に自然環境分野における様々な政策の背景や目的について学ぶ。
	14	環境リーダーシップ入門ゼミ	(1)	1	全学	坂本真一	環境問題は、国や自治体だけでなく、私たち一人一人がパートナーとなって解決していかなければならない。その時に必要な、リーダーシップの力を身につけられるようにする。
	15	自然環境と文化				分藤大翼	人類学的な知見にもとづいて、自然環境と密接に関わりながら生きている人々の文化を紹介し、自然環境と私たちとの関わり方について考えている。
	16	トレッキング1	(1)	1	全学	廣野・加藤	「信州の自然体感」をテーマに、自己の身体を再確認し、運動の重要性の認識と生涯学習への導入を図るとともに、信州の自然環境を体感することにより環境問題についての理解を深める授業。
	17	アウトドアの達人	(1)	1	全学	古屋・加藤	乗鞍高原をフィールドとして、夏・冬を通じた地形や季節の特色を活かしたアウトドア活動を実施。学生それぞれが自然との関わりを持つソロ活動も取り入れている。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	1	第四紀学	(1)	2	理学科・地球学コース	山田 桂	過去260万年間の地球の様子がどのように変化したのか、その原因は何か、について、関連する知識をふまえて解説を行う。
	2	グリーンサイエンス通論2	(1)	2	理学部	山田 桂ほか	地球環境, 生態系, 気候変動などをトピックスとして, オムニバス形式で理学に関する幅広い知識をつけるための講義を行う。
	3	グリーンサイエンス通論 I	(2)	1	理学部・化学科	オムニバス	グリーンサイエンスの内容を担当し、化学物質による環境汚染を防止し、人体や生態系への影響を最小限に抑えることを目指した化学についての講義を行った。
	4	分析化学実験	(1)	2	化学コース	巽広輔・高橋史樹・金継業	実験で出る廃液の環境への影響について説明し、その適切な処理方法について指導した。
	5	グリーンサイエンス通論 I	(1)	1	数学科、物理学コース、化学コース、地球学コース、生物学コース、物質循環学コース	巽広輔ほか	環境分析のいくつかの項目を取り上げ、その測定法を解説した。
	6	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山 拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	7	物理化学II	(1)	2	理学部化学コース	飯山 拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
	8	物理化学III	(1)	3	理学部化学コース	飯山 拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
	9	物理化学実験	(1)	3	理学部化学コース	飯山 拓、浜崎亜富、二村竜祐	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	10	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	11	物理化学 I	(1)	2	理学科・化学コース	浜崎 亜富	量子化学・光合成反応を絡めた環境についての講義
	12	化学実験	(1)	1	理学部理学科	石川厚 浜崎亜富 ほか	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	13	グリーンサイエンス通論2		2	理学部	複数	グリーンサイエンスに関係する内容を6名の教員が分担して講義する。
	14	地球史学	(1)	2	地球学コース	吉田孝紀	地球環境の変遷を教える。
	15	地学概論 I	(1)	1	理学部・農学部	吉田孝紀	地球環境の成り立ちを教える。
	16	生きものたちのふしぎ・多様性ゼミ	(1)	1	共通教育	東城幸治	生物の系統や進化・環境との関わりについてディスカッションを実施する。
	17	系統分類学	(1)	1	生物科学科	東城幸治	地球上に生命が誕生してからの約41億年間、生物はどのように進化・多様化してきたのか？ その環境との関わりや適応について、プロセスを理解するとともに系統進化プロセスを反映させた分類体系を理解する。
	18	計測化学特論	(1)	修士1年	化学ユニット	高橋 史樹	諏訪湖の採水を通じて環境への理解を深める。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	19	分析化学特論II	(1)	学部3年	化学コース	高橋 史樹	分離分析に関する分配法則に基づいた廃液処理の知識・技術の理解のを深める。
	20	分析化学演習	(1)	学部2年	化学コース	高橋 史樹	河川水などの成分分析技術の紹介と、適切な分析化学方法の選択に関する知識および理解を深める。
	21	グリーンサイエンス通論 I	(2)	1	理学部・化学科	オムニバス	グリーンサイエンスの内容を担当し、化学物質による環境汚染を防止し、人体や生態系への影響を最小限に抑えることを目指した化学についての講義を行った。
	22	分析化学実験	(1)	2	化学コース	巽広輔・高橋史樹・金継業	実験で出る廃液の環境への影響について説明し、その適切な処理方法について指導した。
	23	グリーンサイエンス通論 I	(1)	1	数学科、物理学コース、化学コース、地球学コース、生物学コース、物質循環学コース	巽広輔ほか	環境分析のいくつかの項目を取り上げ、その測定法を解説した。
	24	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山 拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	25	物理化学II	(1)	2	理学部化学コース	飯山 拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
	26	物理化学III	(1)	3	理学部化学コース	飯山 拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
	27	物理化学実験	(1)	3	理学部化学コース	飯山 拓、浜崎亜富、二村竜祐	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	28	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山 拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	29	物理化学 I	(1)	2	理学科・化学コース	浜崎 亜富	量子化学・光合成反応を絡めた環境についての講義
	30	化学実験	(1)	1	理学部理学科	石川厚 浜崎亜富 ほか	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	31	グリーンサイエンス通論2	(1)	2	理学部	複数	グリーンサイエンスに関係する内容を6名の教員が分担して講義する。
	32	地球史学	(1)	2	地球学コース	吉田孝紀	地球環境の変遷を教える。
	33	地学概論 I	(1)	1	理学部・農学部	吉田孝紀	地球環境の成り立ちを教える。
	34	堆積環境学	(1)	2・3	理学科物質循環コース	村越直美	各堆積環境の成り立ちとそのプロセスを学ぶ。
	35	グリーンサイエンス通論 II	(1)	2	理学部	村越直美	地球環境の成り立ちと変化を、地球時間と人間時間の視点から理解する。
	36	自然科学史	(1)	1	全学	村越直美	地磁気の性質とその変遷およびチバニアの解説。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
医学部	1	衛生学公衆衛生学演習・実習I 環境医学概論		3	医学部医学科	野見山哲生	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。
	2	衛生学公衆衛生学演習・実習I 環境医学の実際1,2		3	医学部医学科	塚原照臣	環境因子と健康影響について授業を行った。
	3	ユニット講義(社会医学・医療管理) 環境・産業医学の実際		6	医学部医学科	大前和幸	環境保健におけるトピックスを通じて、健康と環境の関係について概略について授業を行った。
	4	ユニット講義(社会医学・医療管理) 子どもの健康と環境に関する全国調査		6	医学部医学科	野見山哲生	エコチル調査の概要を理解し、環境因子と子供の成長・発達について授業を行った。
	5	社会・環境人間健康学概論		1	大学院修士課程	野見山哲生他	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。
	6	放射線安全実習	(1)	2~4	理学部	廣田昌大	放射線の基礎、人体影響、関連法令等の知識取得のほか、放射線量の調査、霧箱を用いた放射線の観察等の実習を行った。
	7	私たちと放射線	(1)	全	共通教育	廣田昌大	自然界の放射線、健康影響等放射線の基礎的知識のほか、放射線と親密な関係がある原子力を中心にエネルギー問題について講義した。
	8	成人看護学概論	(1)	2	保健学科・看護学専攻	新井清美	成人を取り巻く今日の状況および健康への影響として環境問題、労働環境に関する授業を行った。
	9	看護学概論 I	(1)	1	保健学科・看護学専攻	浅野美礼	看護の目的と果たす役割、看護の歴史と教育制度、看護過程の基本的な考え方を学ぶ。その中の項目として環境問題と健康の関連、対象と環境とのかかわりを学習する。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業  
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2022年度 調査実施年度:2023年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
医学部	10	看護学概論Ⅱ	(1)	1	保健学科・看護学専攻	浅野美礼	医療における倫理の考え方と看護実践との関係、看護理論の種類、理論と根拠に基づいた実践を結ぶ看護研究の意義を学ぶ。環境については特にナイチンゲールの看護論で学ぶ。
	11	看護学方法論Ⅰ	(1)	1	保健学科・看護学専攻	浅野美礼	患者の療養上の世話に関わる基本的な看護技術を学ぶ。健康を維持するための生活環境を整える方法を理解する。